

2024年2月13日実施
日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第2週目
学力試験 英語 解答例
(配点は当校の推定によるものです)

<英語>

【Ⅰ】 配点：24点；各3点

(1)	<u>B</u>	(2)	<u>C</u>	(3)	<u>B</u>	(4)	<u>A</u>
(5)	<u>B</u>	(6)	<u>B</u>	(7)	<u>D</u>	(8)	<u>C</u>

【Ⅱ】 配点：16点；各2点

(9)	<u>D</u>	(10)	<u>C</u>	(11)	<u>B</u>	(12)	<u>C</u>
(13)	<u>B</u>	(14)	<u>D</u>	(15)	<u>A</u>	(16)	<u>C</u>

【Ⅲ】 配点：24点；各4点

(17)	<u>B</u>	(18)	<u>C</u>	(19)	<u>A</u>
(20)	<u>B</u>	(21)	<u>B</u>	(22)	<u>D</u>

【Ⅳ】 配点：18点；各3点

(23)	<u>D</u>	(24)	<u>A</u>	(25)	<u>A</u>
(26)	<u>B</u>	(27)	<u>C</u>	(28)	<u>B</u>

【Ⅴ】 配点：18点；各3点

(29)	<u>A</u>	(30)	<u>C</u>	(31)	<u>B</u>
(32)	<u>B</u>	(33)	<u>D</u>	(34)	<u>A</u>

【短評】

【全体評】

出題形式は例年通り。全体的にはやや難化か。

【Ⅰ】やや難化。問7の「far」は比較級にしか使えないと覚えてしまっている人も多かったのでは。

【Ⅱ】例年通りだが、一部であまり扱われない知識が問われる問題も。

【Ⅲ】問題文はやや難化。選択肢は紛らわしいものがなく素直に選べば正答しやすい。問題文自体は細かい単語などもあり読みにくさを感じたかもしれない。

【Ⅳ】例年ほど【Ⅲ】との関連性がなく、【Ⅲ】を読み解くヒントにはできなかった。

【Ⅴ】難化。村上隆氏とメタバースという最近の話題だが、全体的に難易度が高く解答に苦労したのではないか。

2024年2月13日実施
 日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第2週目
 学力試験 国語 解答例
 (配点は当校の推定によるものです)

<国語>

【Ⅰ】配点：28点；各4点

一	4	二	4	三	3	四	1
五	2	六	2	七	3		

【Ⅱ】配点：24点；各4点

一	2	二	3	三	2
四	4	五	3	六	4

【Ⅲ】配点：28点；問一：各2点、問二：各1点、問三～六：各4点

一A	1	一B	4	一C	4	一D	3
二a	3	二b	5	二c	7	二d	6
三	1	四	2	五	4	六	3

【Ⅳ】配点：10点；各2点

一I	6	一II	2	一III	3	一IV	7	二	3
----	---	-----	---	------	---	-----	---	---	---

【Ⅴ】配点：10点；問一：各1点、問二：各2点

一a	4	一b	10	一c	6	一d	12
二a	4	二b	2	二c	2		

【短評】

【全体評】

難易度の差があり、【Ⅰ】が難問。大問ごとの時間配分や解答順などを工夫し、正答しやすい問題を間違えずに取れるかがポイント。

【Ⅰ】問題文は例年よりかなり難解。共通テストのような社会問題を取り扱うような問題。選択肢もやや複雑で、ポイントを見つけられなければかなりの時間を取られたらろう。ある程度の見切りも必要。例年より難化。

【Ⅱ】平易な文章、設問。例年より易化。

【Ⅲ】和歌の解釈が勝負。全体的には例年より易化。

【Ⅳ】【Ⅴ】例年通り。【Ⅳ】の問1は一見難しそうに見えるが、外れの選択肢が分かりやすいので落ち着いて望めれば正解は容易。